

読書のすすめ

土岐市図書館

☎1253

テーマ

博物館

博物館は敷居が高いと感じる方もいるでしょう。ですが、規模の大小を問わず近場にもさまざまな施設があり、結構身近な存在でもあるのです。そんな博物館施設の魅力を語る3冊をご紹介します。



浦島茂世『企画展だけじゃもったいない 日本の美術館めぐり』

美術館を特別な所とせず、気軽にのんびりと訪れる場所としての各館独自の楽しみ方を紹介する1冊。教科書に載っている名画名品だけでなく、建物や景色も含めてお気に入りの場所を見つけてみたい方に。



宇佐江みつこ『ミュージアムの女』

展示室の片隅で、静かに観覧者を見守るスタッフの姿に見覚えはありますか。この本は岐阜県美術館の監視係として働く著者が、芸術に親しむ人たちの素朴な日常の姿と豆知識をユーモアたっぷりに描いたお仕事レポ漫画です。声に出して叫びたいくなる画家の名前とは…？



大澤夏美『ミュージアムグッズのチカラ』

「生まれたばかりのパンダの大きさと重さを再現したぬいぐるみ」や「サナダムシの触り心地を体験できるTシャツ」など、その施設ならではの特徴が詰まった数々のグッズを推す本書。可愛い・感動・マニアック・深い学びの4つの視点から、お持ち帰りできる博物館のチカラに迫ります。

感動の友情ストーリーをぜひ皆さんも読んでみてください。



二人の成長と感動の友情ストーリーをぜひ皆さんも読んでみてください。

不思議な転校生リサはいつもツンとして一人ぼっち。心ぞうが悪いと言ってプールはいつも見学。友達になりたいミヒロですが、いつも冷たいリサに話しかける気になりません。ある日、学校帰りにプールを見つめるリサを見つけ、「ある」お願いをされたミヒロ。願いを引き受けたミヒロは、リサがプールに入れない本当のひみつを知ってしまいます。

二人の目線で交ごに書かれていて、一人一人の気持ちの変化がよくわかり、どんどん読み進めてしまいます。

そして夏休み、「苦手なことをこく服する」という宿題が出されます。二人はどんな苦手を、どのようにこく服するのでしょうか？

不思議な転校生リサはいつもツンとして一人ぼっち。心ぞうが悪いと言ってプールはいつも見学。友達になりたいミヒロですが、いつも冷たいリサに話しかける気になりません。ある日、学校帰りにプールを見つめるリサを見つけ、「ある」お願いをされたミヒロ。願いを引き受けたミヒロは、リサがプールに入れない本当のひみつを知ってしまいます。

朝比奈蓉子／作
わたしの苦手な女の子

寄稿者募集
おすすめの1冊
教えてください



とき読書っこクラブ
泉西小学校4年
寺澤 采音さん

私の一冊

朝比奈蓉子／作

わたしの苦手な女の子

12月の休館日

■休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
			1	2	3	4	▶火～金曜日 10:00～19:00
5	6	7	8	9	10	11	▶土・日曜日、祝日 10:00～17:00
12	13	14	15	16	17	18	※変更があった場合は、図書館HPやTwitterでお知らせします
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

お知らせ

新型コロナウイルス対策のため図書館に
来館できていない方のため、3歳児健診時
にお配りしたぶっくんノートの有効期間を1年延長して
2年間とします。表示の有効期限が1年と書いてあっても2年間受け付けします。ぶっくんノートがいっぱいになったら図書館にお持ちください。絵本をプレゼントします。

ノートが破れてしまった、無くしてしまったという方は、図書館へ問い合わせください。

